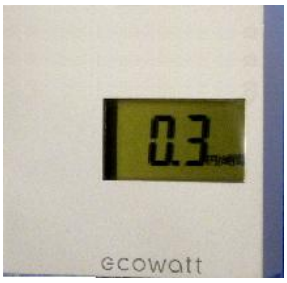
別紙資料

エコワットを使って節電をしよう！！

エコワットとは？

自分の目で消費電力や電気代、CO2 排出量をチェックできる！

家電機器のプラグとコンセントの間にエコワットを差し込むと、
電気料金（円）、使用電力（kWh）、CO2 排出量（kg-CO2）、
1 時間あたりの電気量（円/時間）が繰り返し表示されるので、
1 日あるいは 1 週間あたりの家電機器別の消費電力と電気代、
CO2 排出量の目安がわかります。



はじめに（注意事項）

・エコワットは１００Ｖ専用です。

コンセントの形状が異なる機器には使用しないでください。
２００Ｖ仕様の機器(大型のエアコン､IH クッキングヒーターなど)には絶対に接続しないでください。

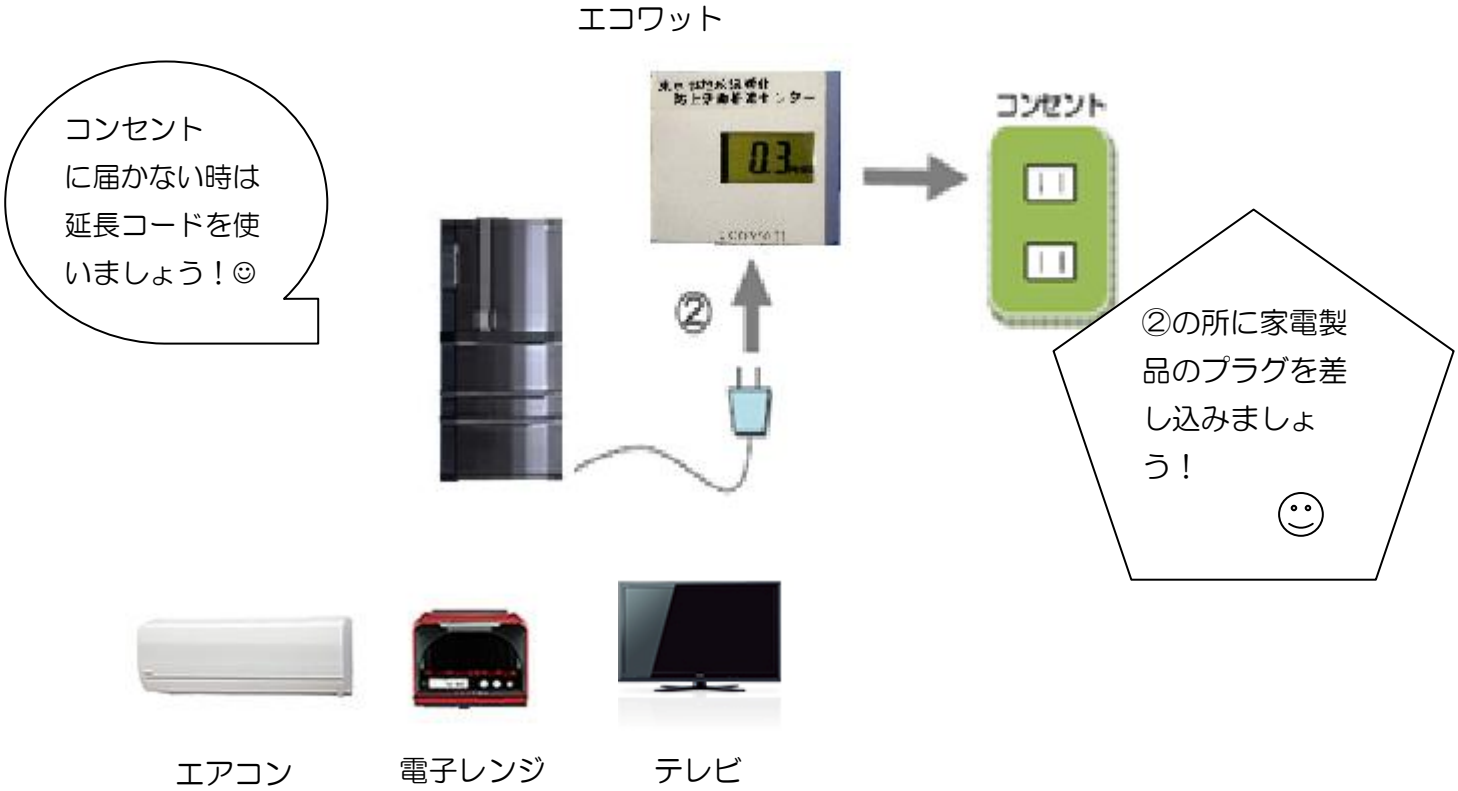
・１２００W 以上の機器には使用しないでください。

エアコン、ファンヒーター、ドライヤーなど消費電力の大きい製品を接続するときは、注意してください。また、テーブルタップなどを使って複数の電気機器を同時に使用することは避けてください。

・エコワット本体をコンセントから抜くと、計測したデータは消えてしまいます。

計測データは、コンセントに接続した状態で確認してください。別の電気製品を接続するときは、一度エコワットをコンセントから抜いて行ってください。

エコワットの使用方法



◎コンセントに差すと自動的に表示がスタートします。

エコワットの表示項目　①→②→③→④が３秒ごとに表示されます。

①▪電気料金（円）

②使用電力量（kWh）

③CO_2排出量（kg）

④一時間あたりの電気料金（円/時）

《表示内容》

① ▪電気料金	使用電力量に応じた累計料金を表示	（0～999 円）
② 使用電力量	消費した電力量の累計値を表示	（0.01～999kWh）
③ CO2 排出量	電力量×CO2 排出係数 0.555 の累計値を表示	（kg-CO2）
④1 時間当たりの電気料金	使用電力量と通電時間から、1 時間当たりの電気料金を算出し表示	

＊チェックシートの CO2 排出係数とは、異なります。（チェックシートの排出係数：0.382（kg－CO2））

◎電気を使うと「電力量」「電気料金」「CO2 排出量」数値が進みます。
（リセットするまで数値は加算されます。）
◎エコワットをコンセントから抜くとリセットされ、数字が「0」に戻ります。
（必ずコンセントから抜く前に数値を確認しましょう。リセットするとデータは消去されます。）

＊エコワットをコンセントに差し込んだ時からの電気料金(円）、消費電力量（ｋＷｈ）、CO_2排出量（ｋｇ）、１時間当たりの電気料金（円/時間）の目安を表示

＊電力料金単価は、22 円／kWh で固定
＊CO_2排出係数は、0.555kg/kWｈで固定
＊計測電力範囲：5W～1500W
＊200V 用の機器の計測はできない

エコワットの使い方！

・いろいろな電気製品を測定してみましょう

冷蔵庫、テレビ、エアコン、ポット、炊飯器、洗濯機、温水便座、パソコンなど、身の回りの電気製品の電気使用量を調べてみましょう。

・電気製品の設定を変えて試してみましょう。

エアコンの設定温度や冷蔵庫の強弱を変えてみたり、節電モードのある電気製品で設定を切り替えてみたりして、違いを確認してみましょう。

・複数台お持ちの電気製品について、大きさや年式の違いによる消費電力を確認してみましょう。

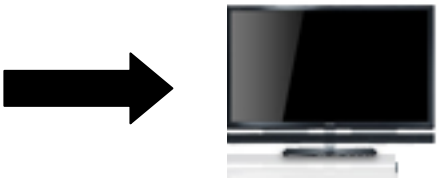
最近の電気製品は、省エネ性能が優れています。違いを確認してみましょう。

① ▪消費電力量を測ってみましょう！（エコワットをテレビにセットして観察する場合🖉🖉🖉）

測った時間	使用電力量（累計）	CO2 排出量（累計）
☀　朝（　　時）	（　　）kWh	（　　）kg
☆　夜（　　時）	（　　）kWh	（　　）kg
１日（　時～　時）に 使った電気の量、CO2 排出量	（　　）kWh	（　　）kg

②省エネ効果の把握（＊効果をみる場合は、測る時間を決めて測定します。）

（テレビの場合）



最初の１日はいつもどおりに・・　　次の日はすこしがんばって
いつもよりテレビを見る時間を短くします。

（冷蔵庫の場合）

最初の１日は設定温度をそのままで測ります。→次の日は、設定温度を変更して測ります。

その他！

・簡易計測のため、実際と誤差が生じることがあります。
・表示される料金は、目安です。（１kWh あたり 22 円で計算されます。）
・CO2 排出量の計算に使用している排出係数は、アクション７チェックシートの係数と異なります。（チェックシートの排出係数：0.382（kg−CO2））
・５W 以下の電力（待機時消費電力など）は、測定できません。
・その他の詳しい使い方は、同封の「取扱説明書」をご覧ください。

環境学習の一環としてぜひご活用ください！